

全建協連が提供する

中小建設業のための セキュリティ対策セミナー

経済産業省「セキュリティ対策（SCS）
評価制度」に対応して選ばれる会社に！

経済産業省は2026年3月に企業のセキュリティ対策状況を共通の基準で評価・可視化する評価制度を公表しました。本セミナーでは全ての企業が最低限実装すべきセキュリティ対策として、基礎的な組織的対策とシステム防御策、建設業界の対応状況について解説いたします。

- サプライチェーン全体のセキュリティ強化
- 情報管理体制の構築
- リスクアセスメントの実施
- 企業価値と信頼性の向上

2026年8月18日(火) 13:00～15:00

参加費
無料

会場：群馬建設会館 ホール

定員：100名(定員になり次第締切)

申し込み方法：裏面FAXまたはQRコードから申込

問い合わせ先：群馬県建設事業協同組合

(027-287-1004) 担当：神保・小淵

中小企業も狙われる時代！ サイバー攻撃の入り口にされています！

近年、取引先に影響を与えるようなサイバー攻撃事案が頻発して、その被害は中小建設業者にも及んでいます。
取引先に影響を与えることもあり、各企業での早急な対策強化が求められています。

講師

独立行政法人情報処理推進機構
(IPA)

セキュリティセンター
リスクマネジメント部
セキュリティ制度グループ
エキスパート 安田進 様



サプライチェーン強化に向けた セキュリティ対策評価制度 (SCS評価制度)

本制度の概要

近年、委託先企業を狙ったサイバー攻撃により、取引先全体へ被害が広がる事例が増えています。そのため、企業規模を問わず、サプライチェーン全体で一定水準のセキュリティ対策が求められています。

「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度(SCS評価制度)」は、経済産業省が定めた共通基準により企業のセキュリティ対策を★で評価・可視化する制度です。委託元企業は取引先に必要な評価段階(★)を示し、委託先はその基準に沿って対策を実施します。

★3～★4を取得する主なメリット

- ・元請の大手企業からのセキュリティ要求への対応が容易になり、信頼性が向上(大企業より中小企業が狙われやすい)
- ・ランサムウェアや情報漏えいなど「サイバー攻撃」による事業停止リスクを軽減(被害リスクや復旧コストも軽減)
- ・BCP(事業継続計画)やBCM(事業継続マネジメント)の実効性が向上
- ・自社の社員の意識やスキルが向上して、セキュリティ対策を効率よく整備

中小建設業にとってSCS評価制度は、「取引を守る」「会社を守る」「現場を止めない」ための実践的なセキュリティ対策の指標です。BCP・BCMの強化にも大きく役立ちます。

申込先：FAX番号 027-287-1007
(群馬県建設事業協同組合) 又は

QRはこちらから
(Google form)
8月12日(水)まで

会 社 名	
住 所	
氏 名	
役職または 所属部署	

